

陸羽西線が再開しました

おかえり！



△余目駅



△狩川駅



△清川駅

国 土交通省による国道47号「(仮) 高屋トンネル」工事により、列車運転を休止していた陸羽西線。令和8年1月16日(金)に、約3年8か月ぶりの列車運転を再開しました。列車運転再開日には、余目駅・狩川駅・清川駅の3駅に計180人の町民のみなさんと関係者が集い、陸羽西線の運転再開を歓迎しました。ご参加いただいたみなさん、ありがとうございました。

陸羽西線の利用状況

陸羽西線は庄内と内陸を結ぶ重要な交通インフラであり、地域経済を支える生命線です。また、太平洋側の鉄道網とのダブルネットワークを形成し、災害時の物資輸送や迅速な対応を図る上でも重要な路線です。しかしながら、JR東日本が開示する「ご利用の少ない線区の経営情報(2024年度分※)」によると、1日あたりの平均利用者数は117人。大量輸送を得意とする鉄道では、1日あたりの平均利用者数の目安を2,000人としていることを踏まえれば、決

して良いとはいえない状況です。

※代行バス輸送期間

陸羽西線を守り育てていくために

この運転再開を機に沿線自治体や地域が一体となつて、陸羽西線を守り、育てていくことが重要です。さらに、山形新幹線の庄内延伸について議論されている今、陸羽西線が私たちの暮らしや観光輸送において、不可欠であることを示していく必要があります。鉄道利用には、さまざまなメリットがあります。

陸羽西線の利活用



県は、鉄道の利用拡大の取り組みや駅周辺の賑わい創出を「やまがた鉄道沿線活性化助成金」で支援しています。立川小学校区の放課後子ども教室「青空広場」がこの助成金を活用し、新庄駅の社会見学に出かけました。

青空広場コーディネーターの坂本慶治さんは「ゆめりあ鉄道ギャラリーでは、0系新幹線の電動遊具に乗ったり、プラレールを組み立てたりと、楽しそうに過ごしていました。来年度以降も、鉄道を使ったイベントを予定しています」とイベントを振り返りました。

やまがた鉄道沿線活性化助成金

やまがた鉄道沿線活性化助成金は、駅前でイベントの拡充や人が集まる施設の整備、観光利用の促進などに取り組む団体の創出および活動支援のため、助成金を交付しています。例えば、新幹線や在来線特急を利用した輸送サービス「はこびユン」を活用し、首都圏の人気商品を取り寄せ、マルシェで販売した事例もあります。ほかにも鉄道に関連した沿線特産品の開発や駅周辺の美化活動も、支援しています。詳細については、二次元コードをご覧ください。



陸羽西線再開記念イベント「Welcome Music&抽選会」

- 日時：2/28(土) 11:00～15:00
- 場所：余目駅
- 内容：
 - ・ハーモニカ奏者、寺澤ひろみ氏による歓迎演奏(11:05頃～11:30頃)
 - ・当日に鉄道を利用した方へ、抽選で商品券やお菓子をプレゼント(数に限りがあります)
 - ・JRの子ども駅長制服を着て、記念撮影
- 問合せ：企画情報課企画調整係 ☎0234-43-0802



寺澤ひろみさん

鉄道利用のメリット

- 1、決まった時刻に出発・到着できる
- 2、移動時間を有効活用できる
- 3、環境に優しい
- 4、安全・安心に移動できる

